



全国学力・学習状況調査について

第3学年を対象に、令和4年4月19日(火)に実施された全国学力・学習状況調査(国語、数学、理科、生徒質問紙)、及び第1・2学年を対象に、令和4年6月21日(火)に実施された福岡県学力調査の結果をお知らせします。また、この調査結果をもとに本校教育の成果と課題を分析し、今後の改善・充実のための取組をお知らせいたします。

1 全国学力・学習状況調査 福岡県学力調査とは

【 調査の目的 】

◇ 全国学力・学習状況調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立させるものです。

◇ 福岡県学力調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県内各地域における児童生徒の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、各学校が、児童生徒の学力の状況を把握し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るものです。

【 調査の内容 】

	実施学年	調査内容・問題の種類	
全国学力・学習状況調査	第3学年	国語	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」に基づいて、全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選した問題
		数学	基礎的・基本的な知識及び技能や、その知識及び技能が、問題解決をしていく過程でどのように用いられているかについて明確にした出題
		理科	日常生活に関連する事柄の探究活動をテーマにした場面における、基礎的事項やデータ分析に関する出題。
		生徒質問紙	学校や家庭での生活の様子や国語・数学の興味関心等を選択式で問うアンケート。
福岡県学力調査	第1・2学年	国語	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容を問う問題
		数学	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容を問う問題

以上の目的と内容を踏まえ、本校では学力状況調査問題を次のようにとらえています。

調査の結果は、生徒が身につけるべき全ての学力を示すものではなく、また単に、正答率に注視することで終わるのではなく、現状の分析と今後の取組、例えば課題を解消するための授業指導技術の向上の大切な資料として活用します。また、学校だけの成果や課題で完結するのではなく、コミュニティ・スクールの強みを生かし、学校・家庭・地域の三者が協働して子ども達の学力向上に取り組んでいきます。

2 全国学力学習状況調査の正答率

国語については、全国平均をやや上回っています。
数学については、全国平均をやや上回っています。
理科については、全国平均とほぼ同じです。



3 分析と改善策

国語	分析	<p>【成果】 ○概ね県・全国平均を上回っているが、中でも、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く問題や行書の特徴をとらえ、読みやすく調和のとれた書き方を問う問題の正答率が高かった。</p> <p>【課題】 ●分かりやすく伝わるように表現を工夫して書くこと、論理の展開などに注意をして聞くことに課題があった。</p>
	継続内容と改善点	<p>☆文章の内容を読み取る力をつけるために、基礎となる語彙力を高めたり、表や図式化によって整理したりしてきたことを継続していきます。書くことの力を伸ばすために、ワークの記述問題や課題作文に取り組む時間を増やしたり、また、話す・聞く力を伸ばすために、短作文やスピーチを交流する中で適切な使い方を指摘し合う活動を取り入れたり、活用力を問う問題に取り組んだりしていきます。今回は漢字の読み書きに課題が見られたため、学習プリント等で復習していきます。</p>
数学	分析	<p>【成果】 ○データの傾向を的確に捉え、選んだ理由を数学的な表現を用いて説明することができた。</p> <p>【課題】 ●図形の性質を利用しながら、筋道を立てて考え、理由を説明する問題は全国平均を下回っていた。</p>
	継続内容と改善点	<p>☆タブレットPCを活用し、平面図形やグラフの特徴を捉えさせ、数学的な表現を用いて問題解決する活動を取り入れます。 ☆どの単元においても、課題を解決するための見通しをもち、その見通しを基に根拠を明らかにして説明する活動を充実していきます。</p>
理科	分析	<p>【成果】 ○対照実験における条件を、調べたいことに着目して正しく制御することができていた。授業で扱っていないような探究活動であっても、結果を文章化して解答できていた。</p> <p>【課題】 ●エネルギーに関する分野のうち、力学に関する分野に課題が見られる。また、得られた情報を分析して判断する問題や、実験結果を正しく考察する問題の正答率が全国平均を下回るものが多かった。</p>
	継続内容と改善点	<p>☆基礎の定着のために振り返りを前提として小テストをこまめに行い、低位層の学力向上を図るとともに、発展的な問題をより多く取り扱っていきます。 ☆得られた情報を正しく分析できるよう、考察の時間や交流の時間をさらに確保することや、考察の行い方を改めて説明し、情報を分析できる力をさらに育てていきたいと考えています。 ☆身近な事象を授業展開に積極的に取り入れ、日頃から科学的に物事を考えられるようにしてきます。</p>

4 福岡県学力学習調査の正答率

【2学年】

国語については、県平均とほぼ同じです。自分の考えが伝わるように工夫して書く問題は、期待正答率を上回っていました。

数学については、県平均とほぼ同じです。データを活用する問題は、理解できている生徒が多かったです。

【1学年】

国語については、県平均とほぼ同じです。登場人物の心情を捉える問題は、県平均を上回っていました。

数学については、県平均とほぼ同じです。分数の計算問題は、理解できている生徒が多かったです。

5 分析と改善策

【2学年】

国語	分析	<p>【成果】</p> <p>○漢字や語句、表現技法などの知識・技能を問われる問題は良くできている生徒が多かった。</p> <p>○自分の考えが伝わるように工夫して書く問題は、期待正答率を30ポイント以上回っていた。</p> <p>また、聞き手を意識しわかりやすく話す問題も良くできている。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文章の内容を、叙述を基に捉え、要旨を把握することに課題がある。 ●書写に関する知識に課題がある。
	継続内容と改善点	<p>☆昨年度改善点として挙げた、自分の考えをまとめ、的確に相手に伝わるように書く活動を多く取り入れた成果が表れてきていると考えています。</p> <p>☆漢字や文法などの小テストを継続し、語彙力を高め、言語感覚を豊かにするとともに、書写に関する知識もつけていきます。</p> <p>☆書かれた内容を正確に理解したり自分の考えなどを適切に表現したりする力をさらに強化し、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高めています。</p>
数学	分析	<p>【成果】</p> <p>○正負の計算や一次方程式を解く基本的な問題については、理解できている生徒が多かった。</p> <p>○データから必要な情報を読み取る問題では累積度数や相対度数を求めることができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一次方程式の文章題では、与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することについて課題がある。 ●関数では、事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することについて課題がある。
	継続内容と改善点	<p>☆小テストや単元テストを通して式の計算や連立方程式、立体の体積や表面積の計算などの基礎的な知識や技能の定着を図ります。</p> <p>☆関数については、文章から必要な情報を抽出し、課題解決ができるようにするために、表、式、グラフを関連付けさせながら解決方法を説明する活動を取り入れます。</p> <p>☆タブレットPCを活用し、平面図形やグラフの特徴を捉えさせ、数学的な表現を用いて問題解決する活動を取り入れます。</p>

【1学年】

国語	分析	<p>【成果】</p> <p>○文法の問題や漢字など、知識・技能を問われる問題は、県平均を上回っていた。</p> <p>○登場人物の行動を表す叙述から、心情を捉えることができている生徒が多かった。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図表を用いた目的を捉える問題に課題がある。 ●目的や意図に依じて、自分の考えを明確にし、まとめて書くことに課題がある。
----	----	--

	継続内容と改善点	<p>☆漢字や文法の小テストの実施を継続して行うことで、家庭学習の習慣化とともに、基礎基本のさらなる定着を図ります。</p> <p>☆課題作文の演習に取り組む時間を増やし、正しい文章を書く力や文章の構成を組み立てる力など自分の考えを的確に表現する力を伸ばしていきます。</p> <p>☆資料を活用する演習問題を多く取り入れ、図表を用いた目的を正確に捉え、必要な情報を読み取る力を高めていきます。</p>
数学	分析	<p>【成果】</p> <p>○分数の計算や分数の文章問題を表した図を読み取る問題については、理解できている生徒が多かった。</p> <p>○点対称な図形について、対応する辺を求める問題については、県平均を上回っていた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小数÷小数（余りあり）の計算問題に課題がある。 ●データの調べ方について、資料から必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。
	継続内容と改善点	<p>☆小学校の小数の復習を行い、中学校の「文字の式」や「方程式」、「比例と反比例」の単元において、小数の計算の基礎的な知識・技能の定着を図るために小テストの中に小数問題を増やします。</p> <p>☆3学期の指導内容である「データの活用」において、資料から必要な情報を適切に読み取る方法について説明を行い、定着させるため自分の考えを言葉にして説明する活動を取り入れます。</p> <p>☆小テストや単元テストを行い、基礎的な知識や技能の定着を図ります。</p>

6 生徒質問紙(アンケート)について

アンケートの結果の一部を取り出して、お知らせいたします。(☆福津市共通項目)

質問項目	県平均との比較
① 自分には、良いところがあると思いますか。(☆)	下回っている
② 将来の夢や目標を持っていますか。(☆)	やや下回っている
③ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	ほぼ同じ
④ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	ほぼ同じ
⑤ 友達と協力するのは楽しいと思いますか。	ほぼ同じ
⑥ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(☆)	ほぼ同じ
⑦ 学校の授業時間以外に、平日、1日1時間以上、勉強をしますか。(☆) (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)	下回っている
⑧ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	やや上回っている
⑨ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。(☆)	下回っている
⑩ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。(☆)	下回っている

・「いじめは絶対に許さない」「人の役に立つ人間になりたい」など、正義感や思いやりをもって生活することができます。

・「自分には良いところがある」の項目が、全国や県を下回っているため、今後生徒自身が家庭や学校、地域で活躍する場面や褒める機会を設け、自尊感情の向上を図っていきます。

・地域に関しての項目が低い要因は、コロナ禍で学校から地域に出る機会が少なくなったことと関係していると思われます。現在、徐々に地域と連携した授業や学校行事を取り入れ、地域貢献への意識を高めています。

・学習面においては、ほとんどの生徒がICTを活用した学習の有効性を実感しています。一方で、家庭学習が定着していない生徒が多いことが課題と言えます。今後はタブレットを上手く活用し、計画的かつ継続的に家庭学習を進めていけるように家庭と連携して指導していきます。